

公益財団法人 8020 推進財団 令和 2 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	地域密着 8020 推進事業（口腔機能低下症）
2. 申請者名：	一般社団法人福岡市歯科医師会 会長 神田 晋爾
3. 実施組織：	一般社団法人福岡市歯科医師会
4. 事業の概要	<p>日本における要介護者数は平成 31 年 1 月末現在で、655 万人にも及び、福岡県においても 27 万人にも昇る。これら要介護者の口腔ケア、口腔機能の管理は十分ではなく、介護者、要介護者の口腔に対する意識も低い。そこで、今年度は昨年度の継続事業の一環として、入院患者や要介護者の口腔内に見受けられる症状にポイントを絞ったパンフレットを作成し、医師会、薬剤師会、行政にも協力を仰ぎ、様々な場所や他職種連携会議の場において配布し口腔の大切さを周知した。さらに、今年度は地域における出前講座や施設の介護者への研修などを実施し、8020 運動の認知度を高めると共に、口腔機能の重要性について周知を行い、早期に気づきを与え口腔の定期管理、かかりつけ歯科医へと結びつけるようにした。</p> <p>今回も事業を通じ、超高齢社会を迎えるなど、健康寿命の延伸のために 8020 運動の周知を行うと共に、フレイル予防のための「オーラルフレイル」の周知、認知症の予防と歯科との関わりについて広く啓発を行い、地域における住民が自ら歯科、口腔の大切さに気づき、行動変容を誘発させることを事業の目標として行った。</p>
5. 事業の内容：	<p>昨年度に引き続き、福岡市内における大学病院、私立病院、区役所、公民館、訪問看護ステーションや看護大学や各地区で行われるオーラルフレイルの研修会、いきいきセンター、介護施設などで作成したパンフレットの配布と紹介を行い、口腔ケアの重要性を訴えた。</p> <p>また地域で行われる出前講座でも同様に周知を行った。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）：	<p>これまで同様に、地域住民の集まる場所にパンフレットを設置することで、多くの地域住民の目に止まる状況ができ、歯科医師会への問い合わせも増え、継続的に行うことで徐々にではあるが口腔ケアへの意識づけが出来つつあると思われる。しかしながら、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により増えつつあった出前講座も軒並み中止となり、対面で口腔の大切さを訴える場面が少なくなってしまう。代わりに Web などを利用して啓発を行おうとしたが、双方の準備不足から上手く運営することが出来なかった。その中でも、口腔内を清潔に保つことが感染症予防に繋がることをできる限り啓発したが、引き続き積極的に出前講座を行うとともに、コロナ禍の中、Web などを使った啓発活動も念頭において進め、口腔の大切さを周知する必要があると考える。</p>